

静岡市立蒲原東小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年9月21日（火）

地元の蒲原東小学校が、縄文時代や弥生時代の暮らしを実感するという目的で、埋蔵文化財センターに訪れてくれました。展示室の見学及び蒲原周辺の遺跡の話、石器の試し切り、土器の分類、火起こしの4つの体験を行いました。

◎展示室見学



展示室の見学は、2班ずつ3グループに分け1室5分で巡回し、残り15分は「自分のお気に入り」を細かく観察することにしました。ワークシートに丁寧に絵を描いたり、わからないことを積極的に質問したりして、意欲的に見学していました。

「展示室1～3を見て、時代の流れがよくわかりました。」

「このような、いろいろなものを昔の人が考えたのがすごいと思いました。」



「ニンジンやキャベツの芯などがすぐ切れたのすごかったです。」

◎石器の試し切り体験

石器の試し切り体験は、石器の歴史の話を聞いた後、持参した野菜くずや新聞紙などを黒曜石で切りました。切れ味が鋭くて驚いていました。

黒曜石の塊がすごく重くてビックリでした。



蒲原周辺の遺跡についても話を聞きました。



◎土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3つの土器片を分類しました。それぞれの特徴を理解したけど、わかりにくい弥生土器と須恵器の土器片は区別がつきにくいところは、聞きながら分類することができました。

縄文土器、弥生土器、須恵器の3つの土器片を分類しました。それぞれの



「つるつるした感じやざらざらした感じが、触ってみてわかりました。」

「授業ではやっていましたが、実際に触ってみて、重さや厚さが実感できました。」



◎火起こし体験



風が強くて思うように火種を作ることができなかったのですが、慣れてくると、弾み車をリズムよく回すことができるようになり、大方の班が火を起こすことができました。舞いぎり式でも火を起こすことの難しさを知ることができました。

「1回しかやってないのに、手が痛くなって、昔の人は毎日やってすごかったです。」



「苦勞して、結局つかなかったけど、みんなで協力して、フーフータイムまでだったので良かったです。」